

令和6年5月

GIS 基礎技術研究会会員各位

## ごあいさつ

前略、会員の皆様におかれましては、益々ご精勤、ご活躍のことと存じます。平成9年より始まった GIS 基礎技術研究会は、今年で28年目を迎えることとなります。さて、今年度も従来通り、講演会・実習を年8回（GISDAYを含めると講演は10回）開催する予定です。なお、講演会につきましては、遠方の方々にも配慮して対面とオンラインのハイブリッド形式による開催とさせていただきます。

実習につきましては、ArcGIS Pro の初級コースを毎月定期的に開催するとともに、夏季特別コースとしてPBL形式の実践コースを今年も開催する予定です。このコースにつきましては、皆様からのリクエストがあればお受けしたいと考えています。また、コンサルティング・技術相談を中心とした個別テーマコースも従来通り開催します。詳細につきましては案内をご覧くださいと思います。

会員の皆様におかれましては、今年度はできるだけ現地にて参加いただき会員の交流を深めていただければと思っています。また、講演では、GIS という枠を超えてDX、IoT、点群処理など新しい技術についてもご紹介する予定です。

さらに、毎回のご案内になりますが、この GIS 基礎技術研究会は、NPO 法人「環境システムフロンティア」の事業の一つとして実施しているものです。昨年度、NPO 法人では、GIS 基礎技術研究会としての活動に加えて「災害救援事業」、「地域安全活動」、「情報化社会の発展を図る事業」など、活動の幅を広げております。これらの事業については、NPO の会員となれば、NPO が受託した事業と一緒に実施することが可能となります。事業の詳細につきましては、環境システムフロンティアのHPをご覧ください。

このようなNPOの活動についてご理解、ご賛同いただける皆様には、是非とも本NPOの会員としてNPOに参画していただきたく存じます。ご賛同いただける方は申し込み書中に入会の意思を示していただくだけで結構です。なお、NPOの会員になられた方はGIS基礎技術研究会の会費の一部をNPOの会費に充当させていただくことになっており、追加のご請求等はありません。

末尾ながら、皆様と共に新たな地理空間情報技術を学び、更なる発展を期することを願っております。何かご質問やご意見がございましたら下記まで遠慮なくお問い合わせ下さい。

敬具

特定非営利活動法人 環境システムフロンティア

理事長 三谷 泰浩

E-mail: gis.kenkyukai@gmail.com 電話 092-802-3399

## 令和6年度 GIS 基礎技術研究会のご案内

未曾有のコロナ禍が沈静化したのも束の間、昨年度は予想外の出来事が多発し、世界情勢が大きく不安定化しております。また、我が国においても新年早々、石川県能登地方を震源とする令和6年能登半島地震に見舞われる等、予断を許さない状況が続く中で、皆様から多大なるご理解・ご協力を賜りました。お蔭様で、研究会発足から28年目となる本年度を無事迎えることが出来ました。本研究会に積極的なご指導とご協力を賜りましたこと改めて深く感謝申し上げます。

今年度は、例年のとおり6月からの開催とし、講演を8回、実習を8回行う予定です。

詳細につきましては、第1回目の講演会開催時にご説明致しますが、概要は下記の通りです。ご協力の程お願い致します。また、GIS 基礎技術研究会の入会申し込み、実習の希望コースの申し込みにつきましてもよろしくお願い致します。

### ー運営方法の要点ー

#### (1) 名称

名称は昨年度と同様 GIS 基礎技術研究会とします。

#### (2) 会員、会費等

① 会員は個人会員、特別会員（官庁関係等）、法人会員とします。会費は例年と同様とし、個人会員1万円、特別会員3万円、法人会員6万円とします。

② 特別会員（官庁関係者）については、1口につき3名まで出席可能とします。

※法人会員についても同様3名までです。

③ 実習費は別途1名につき2万円とします。

④ GIS ソフトウェア1本の年間利用費は、基本料として年額4万円（九州大学学内利用者は年額2万円）とし、ソフトウェア1本を含みます。また、ソフトウェア本数を追加する場合は基本料に、追加する本数に5千円を乗じた価格になります（九州大学外利用者の場合：1本追加（合計2本）は4万5千円）。なお、GIS ソフトウェアの年間利用を申し込む会員は、別途、本会代表と GIS ソフトウェア利用に関する契約を行う必要があります（ここでの年間とは、GIS 基礎技術研究会の開始月（6月）から翌年3月31日までとします。翌年4月から5月の間も利用したい場合はご相談ください）。さらに研究会において、研究内容や実施例等を報告して頂きます。

⑤ NPO 法人環境システムフロンティアに入会ご希望の方は、申込書の入会希望欄にご記入下さい。

⑥ 本年度も引き続き、GIS 基礎技術研究会は、NPO 法人環境システムフロンティアの技術啓蒙、普及事業として行います。

#### <会費のお振込先>

金融機関名：西日本シティ銀行 箱崎支店 口座番号：普通 1552701

口座名：特定非営利活動法人 環境システムフロンティア

#### (3) 講演

年8講演の開催を予定しており、3~4回は事例紹介とする予定です。開催方式は、現地講演およびインターネットによるリアルタイム配信を併用したハイブリッド方式となります。時間は、12月および来年2月を除き、午前10時から2時間を予定しています。開催スケジュールにつきましては、<年間スケジュール表>をご参照ください。

#### (4) 実習

実習で取り扱う地理情報システム(GIS)は ArcGIS Desktop から ArcGIS Pro へ移行致しました。今年度は、ArcGIS Pro の基本的な操作習得を目的とした「初級コース」を通常の実習コースとして実施し、ArcGIS Pro による高度な GIS 解析の具体的手法の習得を目的に「応用コース」を夏季特別コースとして実施します。

■ 内容：実習は下記の3つのコースに分かれて実施する予定です。

- ① ArcGIS 初級コース ArcGIS Pro の基本的な操作からデータの作成や解析、マップシェアリング等の基礎技術を習得することを目的とします。
- ② 夏期特別コース ArcGIS Pro の基礎的な操作を習得している方を対象に、実践的な GIS 解析を実施するために必要なプロセスやツールの具体的な取扱い方や手法の習得を目的として、「ArcGIS Pro 応用コース」を計2日間の短期集中型で実施する予定です。また、参加者側が準備した自主的テーマまたは具体的な実問題に対しても個別に技術相談、実習指導で対応します。
- ③ 個別テーマコース 業務・研究などで GIS を使用される方のコンサルティングを行います。希望者に応じて実施致します。

■ 開催日

年8回(8テーマの実習)を実施する予定です。時間は、11月と12月を除き、基本、午後1時から4時までの3時間となっております。スケジュールは<年間スケジュール表>をご参照ください。

■ 場所：九州大学 伊都キャンパス (ウェスト2号館は㊸, CE40は㊹になります。)

地図：[https://www.kyushu-u.ac.jp/f/57240/ITO\\_1\\_Jp.pdf](https://www.kyushu-u.ac.jp/f/57240/ITO_1_Jp.pdf)

<年間スケジュール表>

開催日	講演 <sup>1)</sup>		実習 <sup>2)</sup>	
	午前	午後	午前	午後
6/15 (第3土)	●	—	—	●1
7/20 (第3土)	●	—	—	●2
8/17 (第3土)	●	—	—	●3
9/21 (第3土)	●	—	—	●4
10/19 (第3土)	●	—	—	●5
11/16 (第3土)	—	—	●6	●7
12/21 (第3土)	—	●	●8	—
1/31 (第5金)	GIS Day in 九州 2024 を開催			
2/1 (第1土) <sup>3)</sup>	●	●	—	—

注1) 講演会場は附属環境工学研究教育センター (CE40) 2階を予定。(変更の可能性あり。)

注2) 実習の各コースの実施会場は以下のとおりです。

初級コース：ウェスト2号館1106号室, 夏季特別コース ウェスト2号館1106号室

注3) 2月の講演は午前と午後の2部構成を予定しております。

<ご来場について>

①お車でのご来場

入門ゲートにてメールで送付される「案内」を提示いただければ、無料にて入構できます。  
また、附属環境工学研究教育センター (CE40) 周辺に駐車スペースがございます。

②公共交通機関でのご来場

以下サイトをご参照ください。

GIS 基礎技術研究会 ホームページ：<https://asia.doc.kyushu-u.ac.jp/NPO/gis.html>

【問い合わせ・返送先】

GIS基礎技術研究会事務局 E-mail：[gis.kenkyukai@gmail.com](mailto:gis.kenkyukai@gmail.com) (担当：緒方，谷口，本田)

## 令和6年度 実習及び技術相談

実習は、**年8回**、**伊都キャンパス**にて実施します。なお、実習に必要なソフトウェアは無料で配布致します（ただし、九州大学内の使用に限ります）。また、Wi-Fiによる無線LAN環境を用意する予定ですので、可能な限り、無線LAN搭載パソコンを持参して頂きますようお願い致します。

### (1) ArcGIS 初級コース

ArcGIS Pro の基本的な操作からデータ作成や解析、マップシェアリング等の習得を目的とします。  
<実習内容> ※以下の内容は進捗状況・受講生の要望によって変更することがあります。

6月	第1回	ArcGIS Pro の基礎 (1) 1. GIS および ArcGIS Pro とは 2. インターフェースの名称と役割 3. シンボルの変更
7月	第2回	ArcGIS Pro の基礎 (2) 1. フィーチャの選択 (マップからの選択, 属性検索, 空間検索) 2. 空間参照 3. 縮尺の設定 4. ラベルの表示・アノテーションの設定 5. レイアウトの作成
8月	第3回	データの作成・編集 1. 新規フィーチャの作成 2. フィーチャの修正 3. 属性データの編集 4. テーブルの結合とリレート
9月	第4回	外部データの利用, ジオリファレンス, 空間解析 (1) 1. 外部データの利用 (基盤地図情報, 国土数値情報, WMTS 等) 2. ジオリファレンス 3. 空間解析 (ラスター→ポイント, バッファー, マージ, 最近接等)
10月	第5回	空間解析 (2) 1. 再分類 2. ゾーン (ゾーンのジオメトリ, ゾーン統計) 3. 内挿 (IDW, スプライン, クリギング) 4. サーフェス (コンター, 傾斜角, 傾斜方向, 陰影起伏) 5. 密度 (点密度, 線密度, カーネル密度) 距離 (ユークリッド距離, コスト距離, コストパス等)
11月	第6回	3D データの表示・解析 1. 3D データの表示 (フィーチャの立ち上げ) 2. 3D 解析 (切盛, 断面図, 見通し, 可視領域等)
	第7回	ワークフローの自動化 1. Model Builder 2. タスク
12月	第8回	総合演習

<講師> 菅原, 孟, 川浦, 梅本, 梶島, 富永, 湊, 八十島

## (2) 夏季特別コース

GIS 基礎技術研究会では、通常コースとして「ArcGIS Pro 初級コース」を実施致しております。本年度は、昨年度に「ArcGIS Pro 初級コース」を受講された方やより実践的・実務的な ArcGIS Pro の活用を習得されたい方を対象として、「ArcGIS Pro 応用コース」を夏季特別コースとして計 2 日間の短期集中型で開催致します。なお、本コースは、ArcGIS Pro の基礎的な操作（「ArcGIS Pro 初級コース」相当）を習得していることが前提の内容となりますが、意欲のある方は「ArcGIS Pro 初級コース」を未受講でも本コースを受講可能です。初級を受講されていない方への個別サポートも行いますので、ご興味のある方はご参加ください。また、参加者側が準備した自主的テーマまたは具体的な実問題に対しても個別に技術相談、実習指導で対応します。

<実習内容> ※以下の内容は進捗状況・受講生の要望によって変更することがあります。

※エクストラコースは希望者がいる場合に限り開講いたします。

	日程	コース内容
第 1 回 防災コース	9/19 (木)	<b>1. ArcGIS Online を活用したデジタル防災マップの作成</b> 1.1. ArcGIS Web AppBuilder 等によるデジタルマップの作成・編集 1.2. ArcGIS Field Maps による現地調査データの収集 1.3. ArcGIS Dashboards によるリアルタイム情報の可視化 <b>2. Network Analyst ツールを活用した豪雨災害時の避難計画の検討</b> 2.1. 避難所までの所要時間や避難所の収容人数を考慮した最適な避難所の検索 2.2. 豪雨災害に伴う道路通行止めを考慮した避難経路の検索 2.3. 支援物資の配送ルートの検索
第 2 回 画像分析コース	9/20 (金)	<b>1. Image Analyst ツールを活用した衛星データの画像分類</b> 1.1. マルチバンドラスタの作成と NDVI に基づいた土地被覆分類 1.2. 機械学習（教師なし学習・教師あり学習）による土地利用分類 <b>2. 3D Analyst ツールを活用した 3D データの利活用</b> 2.1. LP データや座標値を持つテキストデータを用いた 3D モデルの作成 2.2. 3D ファイル（CAD ファイル等）の追加・表示
※エクストラ 水文解析コース	平日 希望日 で調整	<b>1. 水文解析ツールを活用した集水域の作成・河道横断形の把握</b> 1.1. 集水域の作成 1.2. 河川断面図の表示 1.3. 河道断面積の算出

## (3) 個別テーマコース

業務・研究などで GIS を使用される方のコンサルティングを行います。

<講師> 三谷, 谷口, 本田

以上